

氏名：鈴木敏明

住所：

職業：映像ディレクター

最近のおもな仕事：

2000「テレビ局の仕事」「消防署の仕事」など(小学校社会科教材映像) 東映教育映像部

2001「時宗紀行」NHK

「素敵な宇宙船地球号ノヒトアイト」を功が救う!?!」テレビ朝日□ギャラクシー賞受賞

2004「神奈川再発見」テレビ神奈川・神奈川県庁

2005「日本語なるほど塾」NHK教育

2006 運転免許講習用映画「交通事故、その実態 ～悲劇を繰り返さないために～」警察庁

2007「週間ブックレビュー」NHK-B S 2

●1990年代、私は東映教育映画部の監督として脚本・演出の仕事に携わっていました。『援助交際』が取りざたされ始めた頃で、社会全般はこの問題をどう扱えばいいのかに頭を悩ませていた時代でした。

『性』とどう向かい合えばいいのかは、私たち制作者にとっても大きな問題でした。社会の中での異性としての性や援助交際や売春といった商品化される性の存在は、教育映像を作るという立場を超えて、私たちがどう生きるべきかということへの大きな問題提起でもあるからです。

●94年の冬、私たちは、『東京都幼稚園小学校中学校高等学校障害学校性教育研究会』の研究と理論に有効性を見いだしました。私は、ここで疋田先生と出会いました。

●疋田先生の考え方と東久留米西中学校で行われた公開での研究授業は素晴らしいものでした。

□自らと社会を正確に認識しようとする

□批評性を持つ、つまり自分で考える

□自分の考えに基づいて行動する

□その行動がさらに批評にさらされる、つまり教室で話し合われる

□考えと行動が修正される

□自身のメンタリティーを抑圧せずに、他者を尊重した良好なコミュニケーションを導き出す

3年C組の教室で、私たちは人間の発達には□□□を獲得するためのトレーニングが絶対に必要であると実感しました。

いまだになくならない「いじめ」や「殺人事件」が、コミュニケーション・スキルに起因していることはいうまでもありません。ですから、疋田先生の考え方と実践方法は非常に有効であると私は思いました。

疋田先生の授業をさらに展開させた教育映像を作りたい――。

●疋田先生の3年C組のホームルームにお邪魔し、生徒たちに私たちが中学生の『性』をテーマとした教育映像をつくりたいということを語り、協力を依頼しました。

放課後、ほとんどの生徒は学校近くの団地の集会所に集まってくれました。そして、生徒たちによる「シナリオ作り」が始まりました。

これは前述の□です。『性』や『性差』に関する自らの体験や考えが数週間かけて「シナリオ」になっていきました。

●早春の日曜日、石神井公園では「デートの場面」が、教室では「男の子をめぐる母と娘の会話の場面」などが生徒たちによって生き生きと演じられました。

●私たちのカメラは、□もしっかりと捉えました。映像やお芝居の観客もまた生徒たちだったからです。

自らの台詞が、立ち居振る舞いが、社会の中での立ち位置が、マスメディアの影響までも視座に入れられて議論されました。当時はまだそれほど論じられていなかったメディア・リテラシーも生徒たちは□から□を実践することによって獲得していったのです。

●こうして、1995年春、『男？女？自分の性を話してみよう ~What am I?~』と『異性とつきあうってむずかしい？ ~3年C組からのメッセージ~』というそれぞれ20分ほどの教材番組が完成しました。私は、自信を持ってこの番組を世に問いました。

大きな評価を得ることはありませんでしたが、現在でも全国の中学校や視聴覚ライブラリーで活用されています。

●その後も東映で高校生を対象とした『援助交際を考える』、オヤジ狩りをテーマにした『少年犯罪を考える』といった教育教材映像を制作する際にも、疋田先生はじめ『東京都幼稚園小学校中学校高等学校障害学校性教育研究会』に参加している多くの先生方から適切なアドバイスをいただきました。業務上の謝意を超えて、人間として多くを学ぶことができたことへも大変感謝しています。

●さて、東映はこうして制作した番組を販売し利潤を上げています。ですから制作費には『監修料』という名の疋田先生への謝礼金が組み込まれていました。しかし、先生はそれを受け取りませんでした。ですから、私たちは3年C組の全員と学校に図書券を進呈させていただきました。

●また、日常の職務以外にソフトテニス部顧問として、PTAの一員として多忙を極めている中で、『性教育』へのたゆまぬ研究と私たちへの惜しまぬ協働には頭の下がる思いでした。冬から春にかけての4ヶ月間は、とっぴりと日が暮れた部活動後だけではなく週末のほとんどを映像制作に煩わせていたからです。

●疋田先生の教育者としての熱意に打たれたことは言うまでもありませんが、私はその教育理論と実践の方法に大きな有効性を見つけています。現代社会の問題の多くはコミュニケーション・スキルとメディアや情報に対するリテラシーの欠如に起因しています。そのコミュニケーションや情報には『性』も深く関わっています。

●私は疋田先生との仕事を通して『性教育』の必要性を実感しました。『性』を考えることは人間を考えることに他ならないと思いました。いまだになくならない「いじめ」「性の商品化」「社会への無関心」...。これらの問題に教育者として真摯に向かい合い、有効な方法で解決させている疋田先生が学校教育の現場から抹殺されることは、社会的損失であると強く思っています。